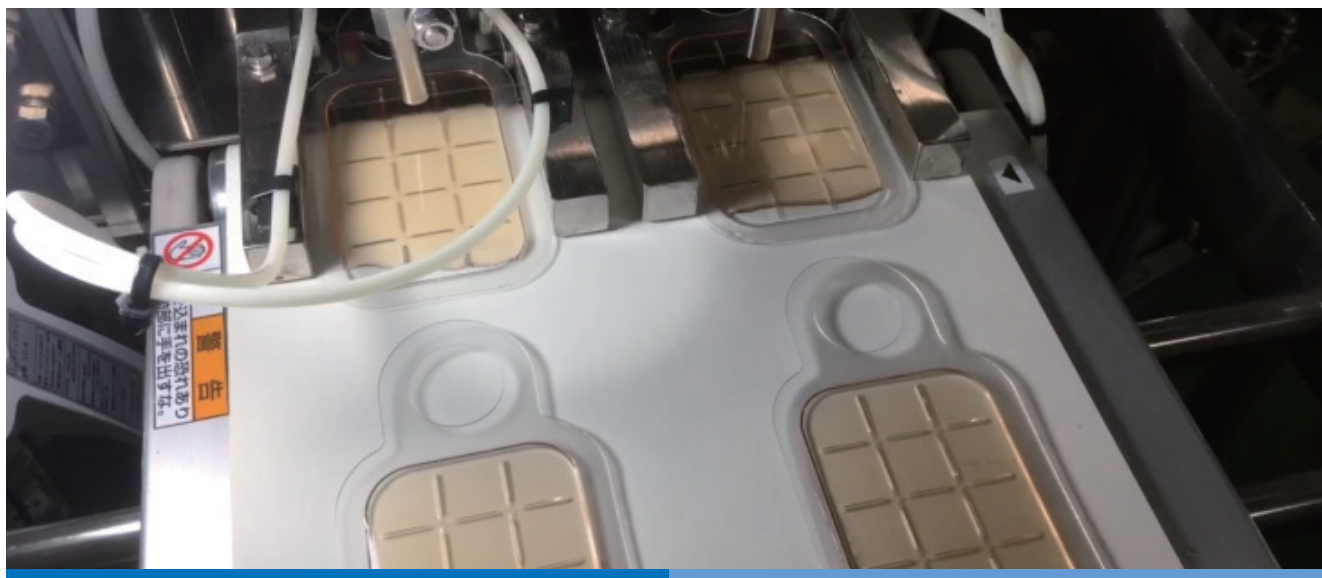




細菌培養検査用培地製造技術 (RFIDゲル内封入実装技術)の開発

■ 事業のきっかけ・背景

近年、食の安全についての気運が高まり、食品企業においては微生物検査が非常に重要なプロセスとなっているが、全ての食に通ずる「水」の水質検査においては、検体数管理や培養管理時にラベルの貼り間違いや記入ミスといったヒューマンエラーが多発しており、十分な管理ができておらず、水の安全が担保できていない現状があった。

水質検査の信頼性確保のため、検査機関における検査技術と検体管理の効率向上・簡易化を目的とし、管理しやすい培地製造技術の開発を行った。



■ 事業の概要・成果

本事業では、ヒューマンエラー解消のため、極薄の検査用培地へ RFID チップを封入実装する充填技術を開発し、ソフト管理する事で検体情報の正確な管理を可能とした。加えて、保管性の良いプリスターケースを新たに培地トレイとして設計し、培地充填する事により、検査工程の簡易化が実現すると共に、検体現物の容易な管理を可能とした。

主題である RFID チップ封入実装技術について、技術開発は成功したが製造コスト面で課題が発生したため事業化には至らず、チップ非実装版を微生物簡易測定器具として先行して事業化を行った。市場ニーズを確認できた事で、チップ実装版の事業化を見据えた一定の成果を得る事ができた。



今後の方針、次の目標など

本事業において開発した RFID 実装培地は、非常に革新的で高いポテンシャルを秘めており、展開次第では市場を席巻できると確信しています。流通量が上がれば製造コストの削減にも繋がるため、まずは研究・産業用カタログ通販などに掲載し、認知度向上を狙いたいと考えています。

革新的な技術・製品を生む下地に企業規模は全く関係なく、顧客ニーズを如何に具現化するか、という技術力・発想力・応用力の問題です。

今後も他社が模倣困難な「オンリーワン」のものを創造してまいります。



代表取締役社長 丸野 正徳

企業概要



代 表 者 名	代表取締役社長 丸野 正徳
設 立 年	2003年10月
所 在 地	〒639-0235 奈良県香芝市良福寺46-1
T E L	0745-48-0015
F A X	0745-48-5208
ホームページ	http://www.jem-int.co.jp/
資 本 金	1,300万円
従 業 員 数	5名
事 業 内 容	含水ゲルマスクのOEM・ODM製造

当社は日本電子精機株式会社（代表者兼任）の関連子会社として設立し、同社の印刷技術を応用した新技術で、自社ブランド「Jemgelee」を展開。

化粧品・美容業界を顧客としてフェイスマスクなどの自社製品製造・OEM／ODM製造を行っており、ゲル系に限らず、あらゆる“高粘度のモノ”の充填技術が独自の強みである。

親会社でも掲げる「ONLY ONE」をポリシーとして「ものづくり」に特化しており、中小企業の枠に収まらずに「異端児」として、大手企業の技術ばかりに頼ることなく、自社の技術力をもって真っ向から市場と向き合い、顧客ニーズを満たす新技術・製品の開発を行っている。